

えぐね

※えぐねは、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に杉・栗・桐などの木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林である。杉は建築材に、落葉は燃料や肥料などにも使われた。冬は温かく、夏は涼しく、緑豊かで快適な住環境を形づくるとともに、日本の原風景を代表する豊潤な景観を生み出している。

☆☆まなびフェストに関わる☆☆

学校評価の結果②をお知らせします

58号に引き続き、保護者の皆様からいただいた評価結果をお知らせします。

お子さんの様子について



計47%

1 よく本を読んでいる

- 当てはまる 57人 (18%)
- どちらかといえば当てはまる 94人 (29%)
- どちらかといえば当てはまらない 121人 (36%)
- 当てはまらない 58人 (17%)

昨年度は、「当てはまる・どちらかと言えば当てはまる」の合計が44%でしたので、若干家でも本を読む人が増えてきているようです。朝読書や図書委員会の地道な活動が徐々に実を結びつつあります。

2 親が言わなくても、自分から勉強している

- 当てはまる 69人 (21%)
- どちらかといえば当てはまる 167人 (51%)
- どちらかといえば当てはまらない 67人 (20%)
- 当てはまらない 25人 (8%)



こちらも「自分からしている人」が前年比+12%と向上してきていますが、夏休みの課題の提出状況を見ると、まだまだ十分とはいえないようです。

3 学校に行くことを楽しみにしている



- 当てはまる 128人 (39%)
- どちらかといえば当てはまる 156人 (47%)
- どちらかといえば当てはまらない 40人 (12%)
- 当てはまらない 8人 (2%)

「学校は楽しいところ」であるべき存在ですが、実際は毎日5~6時間の授業があり、部活動だって時には厳しく、きついときだってたくさんあります。様々な人間関係で、悩み苦しむこともあるでしょう。

でも、それは学校にいるからこそ経験できることであり、仲間とともに手を携え、悩み苦しみながら様々な課題を克服していく経験は、これからの人生を生き抜いていく上で不可欠な過程であると考えます。

「楽あれば苦あり」も然り、「苦あるからこそ楽あり」も然りです。



4 心の悩みを抱え込まず、他に相談している

- 当てはまる 57人 (18%)
- どちらかといえば当てはまる 208人 (63%)
- どちらかといえば当てはまらない 54人 (16%)
- 当てはまらない 10人 (3%)



私が過ごした中学校時代に比べると、今は他に相談出来るシステムが十分に確立されています。また、LINE等のSNSで、気軽に相談できる世の中になり、その気になればいくらでも他者との繋がりをもつことが出来るようになりました。その反面、手段が多様化、不特定化するにもなって、メディアに振り回されたり、思わぬ展開に巻き込まれたりして、孤独感や焦燥感を抱く人が増えてきたのが現代社会の実態ではなからうかと思えます。

今必要なことは「人と顔を合わせて話すこと」だと思います。たくさんの人と直接話をして、様々な価値観を共有し、その交流の中から自分が必要とする考え方や生き方を見いだしていくことが大切です。それをとことん出来るところが学校です。その学びの場を保証することが学校の最大の責務と考えます。

5 仲の良い友達がいる

- 当てはまる 206人 (64%)
- どちらかといえば当てはまる 106人 (33%)
- どちらかといえば当てはまらない 11人 (3%)
- 当てはまらない 1人



「友達がいなくて、できない」と悩んでいる人が一人もいない学校でありたいと思います。また、求めるだけでなく求められる人間になる努力も必要です。是非たくさんの人と交流をもってほしいと思います。

お子様に対して、次のことをしていますか

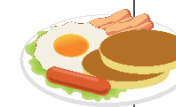
1 子どもの虫歯、疾病の治療に努めている

- 当てはまる 183人
- どちらかといえば当てはまる 122人
- どちらかといえば当てはまらない 23人
- 当てはまらない 2人



2 子どもに朝食をしっかりと食べさせている

- 当てはまる 252人
- どちらかといえば当てはまる 69人
- どちらかといえば当てはまらない 9人
- 当てはまらない 1人



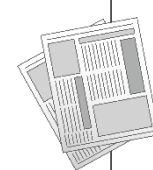
3 平日、子どもと夕食を一緒に食べている

- 当てはまる 211人
- どちらかといえば当てはまる 86人
- どちらかといえば当てはまらない 22人
- 当てはまらない 11人



4 学校からのお便りに目を通している

- 当てはまる 184人
- どちらかといえば当てはまる 118人
- どちらかといえば当てはまらない 28人
- 当てはまらない 4人



5 いじめはどんなことがあっても、いけないことであると言っている

- 当てはまる 257人
- どちらかといえば当てはまる 61人
- どちらかといえば当てはまらない 3人
- 当てはまらない 3人



6 子どもが使う情報端末には、フィルタリングをかけている

- 当てはまる 130人
- どちらかといえば当てはまる 96人
- どちらかといえば当てはまらない 35人
- 当てはまらない 48人



7 子どもが情報端末を使う際のルールを話し合っている

- 当てはまる 137人
- どちらかといえば当てはまる 139人
- どちらかといえば当てはまらない 33人
- 当てはまらない 19人



8 メディアに接する時間と就寝時間を決めている

- 当てはまる 75人
- どちらかといえば当てはまる 157人
- どちらかといえば当てはまらない 81人
- 当てはまらない 15人



テレビ、ネットゲーム、スマホ等の情報端末に接する時間と学力には、かなり密接な相関関係があります。巣ごもり生活によって、ユーチューバーなる職業が再び脚光を浴びていますが、実際にそれで生計を立てていける人はほんの一握りに過ぎません。動画ばかり見ているようでは、家庭学習の時間が確保できるわけはありません。何事にも節度というものが大切です。最低でも、「寝室に情報端末を持ち込まない」といったルールを定めて、保護者が子どもの利用状況を把握できるようにしておきましょう。

9 近所の人への挨拶を勧めている

- 当てはまる 174人
- どちらかといえば当てはまる 134人
- どちらかといえば当てはまらない 15人
- 当てはまらない 2人



10 家庭における子どもの毎日の仕事(役割)を決めている

- 当てはまる 85人
- どちらかといえば当てはまる 111人
- どちらかといえば当てはまらない 95人
- 当てはまらない 36人



11 子どもと将来について話し合う場面があった

- 当てはまる 125人
- どちらかといえば当てはまる 148人
- どちらかといえば当てはまらない 39人
- 当てはまらない 8人



自由記述欄に記載があった内容については、全て全職員で共有し、今後の指導の方向性を確認しました。さらに改善を図るべき点をしっかりとおさえつつ、一層のご支援をいただけるよう、さらなる連携の強化に職員が一丸となって取り組んでいきます。

2学期末にも同様の調査をして、取り組み状況を把握する予定です。子どもの成長を願う気持ちに、学校、保護者互いに違いはないはず。次号では、生徒たちの自己評価を通して、その願いの再確認をしていきます。ご精読のほどよろしくお祈りいたします。